



5月5日(火)開催の5月度臨時業務執行理事会の概要についてお知らせします。

## 緊急事態宣言延長に際して



専務理事/事務局長  
山田 淳

新型コロナウイルス感染症問題により、文化・スポーツ活動のみならず一般の経済活動が麻痺する異常事態となっている中で緊急事態宣言が延長されました。感染爆発を避けることはもちろんですが、この問題は、その後も有効なワクチンが開発されて普及するまでは、制限を厳しくしたり緩めたりして経済を少しずつ動かして行くと言われてしています。

社交ダンスはサークル活動も教室営業も競技会も、すべて屋内で行われていること、ペアで楽しむこと、指導に当たっては指導者との間で濃厚接触が繰り返されること、特にパーティなどは不特定多数を想定していることなどから、他のスポーツより条件が厳しいと考えられます。

このような状況下で5月5日に臨時業務執行理事会を開催し、以下のことを決定・確認しました。

グランプリin仙台

グランプリin北海道

現在の社会的状況から  
開催は極めて困難と判断し  
中止とさせていただきます。

## 第40回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権は 全力で2020年11月の開催を目指します!

〔開催時期の状況に対応したあらゆる安全対策を検討し、(たとえ無観客になったとしても)何とか実現する方向で入念な準備に入ります。〕

登録選手の昇降級、ランキング、代表選考等の特例措置については、  
近日中に担当部門で整合性を確認の上、  
都道府県連盟へ通知及びJDSFホームページで告知いたします。

## 前号でご案内した新サービス『検討ワーキンググループ』報告

組織変革委員会の中で北牧雅文さんをリーダーとして検討を開始し、緊急事態宣言の中でもできること、制限緩和段階(Withコロナ)でできることなど、これまでのパラダイム(※)に制約されない新たな価値を考え始めました。まずはサークル活動を絶やさないためにコミュニケーションの継続が重要と考え、情報発信、コミュニケーションの促進について動き出します。また従来型ダンスイベントの早期実施を目指すため、徹底した安全対策のあり方などについても検討することとしました。



※パラダイムとは・・・ある時代や分野において支配的規範となる物の見方や捉え方